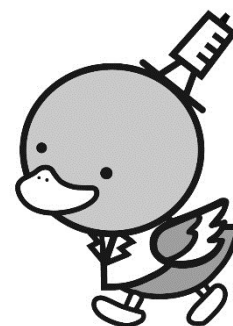


第4章

中間評価をうけた今後の方針



健康づくり
マスコットキャラクター
健診カモンくん

第4章 中間評価をうけた今後の方針

1. 計画の基本方針（概念図）

本市における健康づくりを推進するため策定された第二次計画では、「①生活習慣病の発症予防・重症化予防の徹底」、「②自立した生活を送るために必要な能力の維持・向上」、「③健康を支え、守るための社会環境の整備」を取組みの柱として、これまでの5年間に様々な健康づくりに関連する事業を実施してきました（P22）。

今回の中間評価において、目標値に達しているかを確認したところ、約6割の項目が目標値に達していましたが、目標に達していない項目を評価すると生活習慣の定着化や、健康を支え・守るための社会環境整備の課題が見えてきました（P31, 32）。

個人の生活習慣は、自分の健康状態に気づき、さらに生活環境や人の支えや様々な活動によるきっかけなどの環境因子により行動の変容につながり定着していきます。そのため、個人の健康づくりには、自分の健康だけでなく加賀市版地域包括ケアシステムの考えを受けて「健康のまちづくり」に一人ひとりが関心を持ち進めていくことが重要となります。

本市では「健幸(身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ安心安全で豊かな生活を送れること)」の実現に向け、人と人、人と場所などの地域資源が有機的につながることや既存の仕組みを活かし、さらに行政・民間企業・大学が協働で市民が一体となって「食」と「運動」を通した「KAGA健食健歩プロジェクト」を展開することにより、市民の生涯を通じた健康づくりを推進していきます。

そこで、第二次計画を推進するにあたり、市民が主体的に取り組むべき健康づくりのために必要な要素である、「めざすもの（理念）」、「基本方針」、「基本的な方向」に整理し、誰もが同じ方向性のもと取り組むことができるよう概念図について新たに次の考え方に基づき作成しました。

<新しい概念図の考え方>

- ・「めざすもの（理念）」の実現のためには、市民が主体的に「生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底」、「自立した生活を送るために必要な能力の維持・向上」、「健康づくりを進める生活習慣の改善」について取組みを進めることが重要であり、またそれらは互いに影響しあうと考えた事から格子状に配置
- ・市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、世代間、地域のつながりにより社会全体が相互に支え合いながら「健康を支え守るための社会環境の整備」を進めることが重要であると考えた事から、全体を推進するイメージで下部に配置
- ・国の基本的な方向では、基本方針に「健康寿命の延伸と健康格差の縮小」が示されていることから、「健康寿命の延伸」に続けて「健康格差の縮小」を配置し、個人や地域によって健康づくりに格差が生じることがないように位置づけ
- ・めざすもの（理念）については、第二次計画の上位計画である第2次加賀市総合計画の策定にあわせて変更

●旧 概念図



※健康寿命:日常生活が制限されずに健康に生活できる期間

●新 概念図

